

## 事業概要シート

施策	0401	国際理解・国際交流の推進	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	国際交流事業	拡充	予算額	15,375 千円
事業期間	平成25年度 ~		財源内訳	≪ 11,458 ≫千円
根拠法令要綱等	友好都市締結意向書、姉妹都市提携共同宣言、姉妹都市提携合意書、大村市中高生海外派遣事業参加費補助金交付要綱		国庫支出金	4,310 千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	2,933 千円
			一般財源	8,132 千円

### 【事業の目的・概要・対象】

#### 《目的》

スポーツ・文化交流、ホームステイを通じて多文化への理解を深めると共に世界レベルの学習機会を提供し、グローバル人材の育成を進めるとともに、広く市民が参加できる機会を創出し、地域全体での国際理解・国際交流、多文化共生社会の推進につなげていく。

#### 《概要》

##### ①相互公式訪問

姉妹都市（アメリカ合衆国サンカルロス市、ポルトガル共和国シントラ市）や友好交流都市（上海市閔行区）を公式訪問し、都市間の絆を深める。

##### ②YUMEかなプロジェクト

###### ・海外派遣事業

市内の中高生を姉妹都市（サンカルロス市、シントラ市）へ派遣。

###### ・スタンフォード大学連携事業「Stanford e-Omuraプログラム」【拡充】

世界有数の学びと研究の拠点であるスタンフォード大学の国際教育部門「SPICE」が提供するオンライン講義を取り入れた大村市独自の講座。

【対象】市内在住の高校生 30人

【時期】8月～3月（予定） 全10回（約90分）

【受講形式】全て英語によるオンライン講義の集合受講

【テーマ】日米関係、起業家精神、SDGs、多様性など

【受講料】無料

##### ③その他

オンライン交流や課題解決型の共同事業（在住外国人の困りごとを解消イベント開催など）、国際交流を行う。

#### 《対象》

・市民、友好・姉妹都市市民、姉妹都市協会

中国・上海市閔行区 : 平成5年12月 友好都市提携

ポルトガル・シントラ市 : 平成9年 8月 姉妹都市締結

アメリカサンカルロス市 : 平成24年7月 姉妹都市締結



公式訪問(サンカルロス市)



YUMEかな海外派遣  
(サンカルロス市)



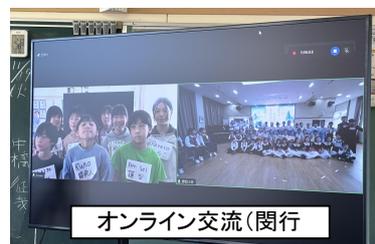
YUMEかな海外派遣  
(シントラ市)



Stanford e-Omuraプログラム【拡充】



YUMEかな発表会



オンライン交流(閔行)

### 【背景】

行政が継続的に友好都市・姉妹都市との相互公式訪問や、中高生を対象としたホームステイ事業による海外派遣、世界レベルの教育機会の提供などを実施することで、民間交流の推進が図られている。これにより、市民の多文化理解や国際感覚が醸成され、グローバル人材の育成にもつながっている。

担当課	企画政策部地方創生推進室	課長	東 奈美
担当者	永田 杏実	問合せ先	0957-53-4111 (内線103)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	中学・高校生のホームステイ派遣者数	計画値	人	4	8	8	8
②	Stanford e-0muraプログラム参加者数	計画値	人	-	-	30	30

### 【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	ホームステイ終了後に語学力がアップしたと感じた学生の割合	計画値	%	100	100	100	100
②	Stanford e-0muraプログラム修了者数	計画値	人	-	-	30	30

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	438	6,656	11,458	15,375	20,449	18,923	73,299
国庫支出金				4,310	5,960	5,197	15,467
県支出金							0
地方債							0
その他				2,933	2,933	2,933	8,799
一般財源	438	6,656	11,458	13,998	17,422	16,659	66,631
人件費	2,052	2,540	6,605	13,877	13,877	13,877	52,827
職員(人)	0.28人	0.33人	0.90人	1.90人	1.90人	1.90人	7.21人
時間外勤務(h)	8h	70h	30h	30h	30h	30h	198h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	2,490	9,196	18,063	29,252	34,326	32,800	126,126

妥当性 (市の関与)	長年にわたる姉妹都市との信頼関係を維持・強化する上で、行政の継続的な関与は不可欠。また、グローバル人材の育成や多文化共生社会の実現といった公共性の高い取り組みは、公平かつ確実に推進すべきであり、妥当性あり。
有効性 (施策貢献度)	将来の地域活性化に向けた長期的な投資として、国際交流を促進することや市民全体に世界トップレベルの教育機会を提供することは重要。この経験を地域社会へ還元する仕組みを設けることで、市民全体の国際教育を推進し、多文化共生マインドの醸成やコミュニティの結束強化につながり、誰もが住みやすいまちづくりにつながる。
効率性 (コスト)	海外派遣事業については参加者は負担金（渡航費用の1/10）を負担している。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価者のとおり